

TOREK 自然農法 ホットニュース

第 205 号 2015. 5. 25

お茶摘み！市川生産グループ

静岡宇佐美にて 4 月 29 日、「命を救うお茶」の茶摘みを 27 名で行いました。宇佐美は「みかんの花咲く丘」の地、温暖な気候のため、例年 4 月末に収穫しております。ところが 4 月 11 日、お茶摘み準備とみかん苗植えにまいりますと、雑草は元気ですが、気温が低いいためか、お茶の芽は小さく、また雨で階段が壊れ、危険でした。このまま 29 日を迎えては申し訳ないと、8 名で 26 日に再び準備にまいりました。この日までに 25℃を越える日もあって、雑草も茂り、臭い弦の「尻糞蔓(へくそかずら)」が何本も茶木にからみつき、悲鳴を上げているようです。有り難くも雨上がりの爽やかな日で、土は柔らかく、雑草の根は面白いように抜け、男性陣は階段を安全なものにし、29 日に向け準備が整いました。



当日 29 日、降らず照らす薄日の中、疲れ知らずで集中して茶葉を摘むことができ、皆感謝しておりました。弦のしめつけから解放された喜びからか、見違えるほど勢いのある元気な茶葉となり、お世話の大切さを思いました。また、地主さんの奥様は「今までで一番良い葉だね。すごく良い葉になったね」と褒めてくださいました。このお茶が世界中多くの方の命の糧となりますよう、常に心におきながら、これからも畑のお世話に努めてまいります。(スタッフ:森章代)

健康な地球に生きる健全な人間の姿を求める「岡田茂吉師」が提唱した「自然農法の原理」に基づき、「無施肥無農薬栽培」を通し、生産、流通、消費者がお互いの現場を理解し合える、安全で豊かな「食」の普及に取り組んでいます。



感動の販売会！井上百貨店 ② 長野県 宮澤弥生

土、日曜日、郊外の地域限定で、販売会の新聞折り込み広告が配布されました。我々の提出した内容そのままが掲げられた広告で、「土を尊び 土を愛し 汚さない…」との文字に感動しました。

また、会場ポスターの「土を尊び土を愛し汚さない」のフレーズが心に響いたという、ガーデニング好きの婦人、肥料を入れずに土の力で育った作物に、土を愛すご自分の思いと重なって、ジュースとマドレーヌを購入されました。翌日再来店。「ジュースの美味しさに驚いた。こんなジュース飲んだことない…」「自然がぎゅっと詰まった味は他にない。孫たちに飲ませたいから」と、さらに 2 本購入されました。

卵アレルギーの 4 歳のお子さんを持つママさん、真剣に商品を見て、話も真剣に聞かれました。「誰もが問題を抱える現代、こういう品があるということは幸せです。子供が卵にチャレンジするときには、山本さんの卵でやります」と大変興味を持たれ、買っていかれました。

2 年常設された堀さんのお米のリピーターさんも何名かいらっしゃいました。TOREK では有名な堀さん、ここ井上でも、「今日は堀さんのお米を買いにきました」と、お客様が「堀さん」「堀さん」と言うのを聞き、まるで TOREK の中のように、長野県松本でも有名になりつつ…うれしく思いました。

ほうじ茶の試飲は、7 日間で約 270 名の方に体験していただき、甘納豆の試食も大人気、召し上がって、甘納豆を皆さん買われました。クッキーを食べて、お母さんに優しくしてあげられたお子さんの体験を話したところ、食が人の性格に影響するのは分かる気がする、次回また来るねと、販売会に出会って喜ばれた方がいました。

多くのお客様が「岡田茂吉師の自然農法」を知ることができ、喜びを感じてくださったことと思います。そして相当に期待されています。また井上側の喜びも相当な様子です。撤収作業中、担当課長が「明日、朝礼でスピーチの当番がちょうど回ってくるので、今回のことを全社員に話そうと思います」とのこと。「試しにやってみた無施肥の販売会でしたが、想像以上のお客様の反響と、リピーターが多くいた



5 月は 6 日～13 日に好評のうちに開催
6 月は 18 日～23 日に開催予定

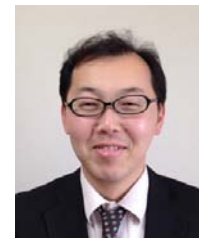
こと、そして今後、定期的に行っていくこと等を話します」と、誇らしげに話してくださいました。「こっそり聞きにこようかしら…」と言うと、ダメです、と断われましたが、堀さんと担当課長、熱き男たちがお客様のための企画し、急きよ決まり、とんとん拍子に進んだ今回の催しの想像以上の結果から、双方に大きな喜びが生まれたように感じます。堀さんも、感動の連続だったこの売り場が愛おしい…とおっしゃっていました。

TOREK の皆様の祈り、応援をまったく背中に感じながら、皆さんと一緒にあの売り場に立たせていただいた思いです。堀さん曰く、先人も来ているのを感じたそうです。「薫君や忠夫ちゃん(故人の生産者)も来てるよ…」と。TOREK の先人のご努力にも改めて感謝しました。

これは始まった一歩であり、これからだと思えます。月に 1 度 1 週間という催事的販売。小さなワゴン内とはいえ、売り場を頂きまして、ここを自然農法の発信の場とし、きちんとした商品を提供していけるよう努め、近い将来は、小さくとも常設し、いつでも自然農法の品々を買うことのできる幸せなコーナーを頂けるように精一杯、取り組んでまいります。ありがとうございました。

自然農法への意気込み！

千葉県 藤原省吾



私は、平成 24 年 4 月より、友人の畑の一部を借りて自然農法に取り組むようになりました。昨年平成 26 年 6 月、突如その畑を返すことになり、新しい畑を探すことになりました。せっかく畑を借りるのだから、以前よりも大きい場所、さらに深く自然農法を実践できる場所をお借りしたいと切に願っておりました。

私は地元の旅行会社に勤めており、お客様にも農家の方がいらっしゃるの、農家の方に聞けば、すぐ見つかるのではと思いましたが、無施肥無農薬栽培を実践するには、慣行農法の農家の方の紹介の畑では、取り組みづらい気がし、また、農家の方々仕事としてやられているので、逆にお邪魔になるような感じがしていました。

ある日、地元の市役所に中学校のころの友人が勤めているので、彼に聞いてみようと思いました。彼は職業柄、地元にも明るかったことと、また、彼の実家も農家だったので、彼に聞けば、何か良い情報を教えてくれるのではと思ったのです。



そして彼に聞いてみると、市内の農業の状況について詳しいだけでなく、彼の実家の畑は、平成 25 年秋より誰も耕作する方がいなくなり、ぜひ使ってほしいと言われたのです。どのくらいのスペースか聞くと、畑 2 町歩すべて貸しても良いとのこと。しかも土地代は無料で構わないと言われました。さらに納屋、水道などは自由に使って構わない、耕したいときは事前に連絡をくれれば、機械で耕しておくという好条件。さすがにいきなり 2 町歩は無理なので、まずは 4.5 畝(東西 50m、南北 9m)のスペースを借り、また、無料は申し訳ないと思いい、土地代を毎年払う形としました。

今年 3 月より、4.5 畝の畑に作物を植え、計画的に使いはじめています。将来的には 2 町歩の畑をすべて無施肥無農薬栽培の畑にするくらいの意気込みで日々実践していきたいと思えます。

お知らせ

自然農法頒布会 6 月 13 日(土) 鎌ヶ谷会場 11:00～ 売り切れ次第終了
自然農法頒布会 6 月 28 日(日) 東中野会場 10:00～ 売り切れ次第終了

無施肥無農薬栽培物の販売予定

6 月 3 日 於：伊都能売会館

生産者の方々が直接販売されます。 東京都八王子市市長房町 57 042-665-6369

- 市川生産グループ：新茶、みかんジュース(500ml、720ml)
- 長柄山自然農園：卵、ひき肉
- きじま平自然農産：甘納豆、きな粉、納豆
- 菜園 金野：大根、人参、サラダ京菜、キャベツ
- 中島農園：キヌサヤエンドウ、スナップエンドウ、コマツナ、梅干
- ジョリフィユ：みかんジュースゼリー、いちごのロールケーキ、マドレーヌ ほか

お問い合わせ先：編集部 針貝 FAX: 03-3369-3324 e-mail: naturefarming@torek.jp
TOREK 活動のホームページもご覧ください。 http://www.torek.jp